

KURASHIKI CENTRAL HOSPITAL



NEWS
NO.26
2016.1

この冊子は、倉敷中央病院をご理解いただくとともに、皆さま方とのコミュニケーションをはかるためのものです。皆さまと当院を結ぶかけはしとなるように、「Kニュース」と名付けました。

倉敷中央病院 ■患者本位の医療・全人医療・高度先進医療■

院内散歩



● 医療情報の庭 ●

患者さんやご家族の方に、病気や健康についてはもちろん、医療制度や福祉について知っていただくお部屋です。

この医療情報の庭に親しみ、ご利用いただくことで、ご自身のあるいはご家族の病気についての理解の助けとなり、またインフォームドコンセントにおいて医療者との意思の疎通が一層図れることを期待しています。

約2,500冊の書籍を中心に、雑誌、DVDを置いています。また、インターネットを利用して、医療・健康に関する情報検索もできます。

USBメモリにご自身のカルテ情報を保存する「マイカルテ」の運用（本誌P12-13に詳細記載）も始まりましたので、ご興味のある方は、ぜひお立ち寄りください。

利用時間帯は月曜から金曜日の午前9時から午後4時までで、ボランティアの方が交代で受付業務を行っています。

CONTENTS

院内散歩
医療情報の庭 3

ヘルシーリビング
心臓血管外科
主任部長 小宮 達彦 4
大動脈瘤のはなし

トピックス1 8
わが街健康プロジェクト。
ー3年目に突入、
初のゴールドサポーター誕生

お知らせ 11
「みんなのくらちゅう5」完成

トピックス2 12
マイカルテがスタートしました！

QQ車 14
産褥出血患者救命に向けて、
部門間連携を強化

歌の力を患者さん・ご家族に…
八神純子さん来院、3年連続で

大動脈瘤のはなし

心臓血管外科

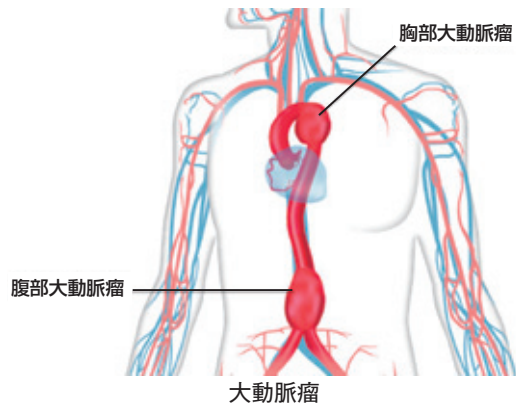
主任部長 小宮 達彦

大動脈瘤とは
どんな疾患ですか？

大動脈は全身に血液を送る体の中で最も太い血管のことです。心臓から横隔膜までを胸部大動脈、横隔膜から下の部分を腹部大動脈といいます。大動脈瘤とは、この動脈がこぶの様にふくれる症状のことです。動脈壁の弱くなっている部分に発生し、血流によって圧力を加えられると外側に向けて膨ら



みます。
胸部大動脈瘤が破裂すると、背中の上の方に激痛が起こりショック状態となります。腹部大動脈瘤



大動脈瘤

も破裂による出血多量で急速にショック状態に陥ります。
自覚症状はありますか？

大動脈瘤の大半は無症状で、何の症状もなく大きくなります。動脈瘤が大きくなり、周囲の組織が圧迫されるようになると症状が現れることがあります。大部分は無症状のまま破裂します。

胸部大動脈瘤の場合は食道が圧迫されて食べものを飲みこめなくなったり、喉頭へ行く神経が圧迫されて声がしわがれたりすることがあります。腹部では拍動性の腫れを感じることがあります。

検査や治療はどのように行いますか？

まず胸部大動脈瘤ですが、胸部

のレントゲンやエコー検査で疑われることがあります。腹部大動脈瘤は、エコー検査を実施して瘤を確認することがあります。大動脈瘤の正確な大きさを調べるため、CT検査やMRIを実施します。最も太い箇所が50ミリを超えている、もしくは半年間で5ミリ以上拡大していれば、破裂の恐れがあるため手術を検討します。

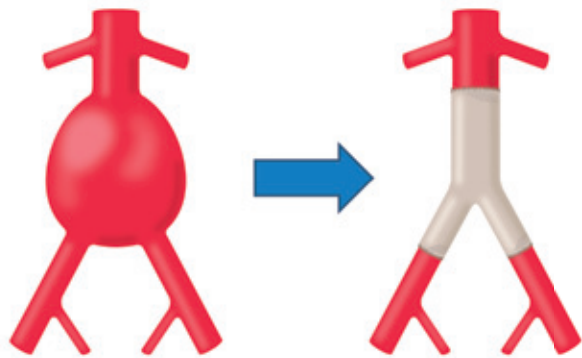
手術はどのように行いますか？

大動脈瘤の手術は、胸部や腹部を切り開いて太くなった血管を人工血管に置き換える「人工血管置換術」が一般的です。胸部の場合は血流を一時的に止める必要があるため、多くの場合「人工心肺装置」を使って実施します。

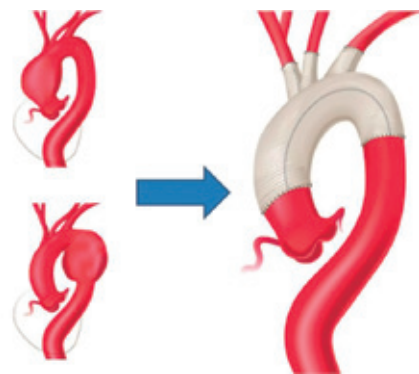
胸部大動脈瘤の手術ですが、当院の最近5年間の症例数は579例でした。待機的手術411例では手術死亡率は1・2%です。手術では人工心肺装置など複雑な手術方法を用いるため、脳梗塞などの合併症が起きる可能性があります。

腹部大動脈瘤では最近5年間で520例の手術がありました。待機的手術は477例で手術死亡率は0・4%です。呼吸障害や腎機能が低下している場合は悪化することがありますので、注意が必要です。

胸部では肋骨を切ったり、腹部では大きく切開したりする必要があります。低侵襲な手術としてステントグラフト治療もあります。



腹部大動脈瘤手術



胸部大動脈瘤手術

ステントグラフトについて 詳しく教えてください。

今までは大動脈瘤の治療方法として、人工血管置換術が一般的でした。胸部下行大動脈瘤手術では、左胸を大きく切開し人工心肺装置

を使いながら大動脈瘤を切除して、人工血管に置換する手術が行われてきましたが、侵襲度が大きく肺合併症や脊髄麻痺などの合併症のリスクがありました。

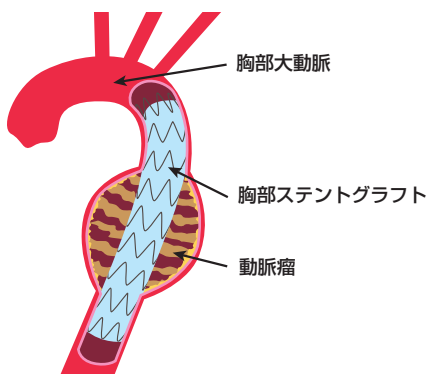
「ステント」とは金属でできた網目の筒状のもので、カテーテルや内視鏡を使って目的の場所まで挿入して留置し、血管や気管などを広げる医療機器を指します。「グラフト」は人工血管のことです。カテーテル操作によって動脈瘤を血管の内側から治療する手術法を「ステントグラフト」といいます。

大動脈瘤は切除されずに残りますが、ステントグラフトにより大動脈瘤への血流がなくなるため、次第に小さくなっていきます。

人工血管置換術と侵襲は どのくらい違いますか？

ステントグラフトは鼠径部の小切開のみで手術を行うことが可能で、手術時間は1～2時間程度で術後の回復も早く、早期退院が可能となっています。呼吸器疾患、脳梗塞、心疾患など手術を受けるにはリスクが高いという理由で、従来の手術を受けることができなかった患者さんに対して積極的に治療を行っています。

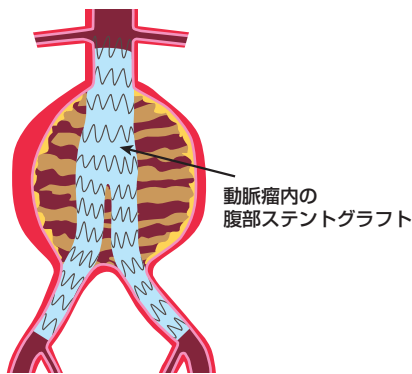
当院では2007年5月から胸部大動脈瘤、2008年から腹部大動脈瘤に対してステントグラフト治療を開始し、現在のところ成績は良好です。最近5年間は胸部大動脈瘤163症例、腹部大動脈瘤229症例に対してステントグ



胸部大動脈瘤ステントグラフト治療

ラフト治療を実施しました。しかし、大動脈瘤の形態や場所がステントグラフト治療に適さないことがあります。そのような場合はリスク評価を行い従来の手術方法をお勧めしています。いずれ

の場合も患者さんと一緒に治療方針を決定します。



腹部大動脈瘤ステントグラフト治療

大動脈瘤のリスク因子は 何が挙げられますか？

大動脈瘤は動脈硬化が関係して

いると考えられますが、ほかにも要因が挙げられます。

リスク因子としては、高血圧▽60歳以上▽男性▽家族歴▽アテローム性動脈硬化症の既往歴▽喫煙者または喫煙歴—と言われています。

早期発見のためには？

冒頭にもお話しましたが、大動脈瘤はほとんど無症状です。瘤ができる、自然に縮小することはありません。他の病気の精査中にエコーやCT検査によって発見される場合が多いです。先ほど挙げたリスク因子に該当される方、該当しない方も人間ドックなどで定期的にエコーやCT検査を受けることをおすすめします。

缶バッチ



名刺と名札ケース

呼吸器疾患をテーマに2題講演

今回は倉敷市立児島市民病院院長江田良輔先生が「長引く咳の病気」・「倉敷記念病院リハビリテーション科 理学療法士 水田泰博先生が「その息切れ、年齢のせい?!呼吸リハビリで息切れ軽減」と題して講演されました。

江田先生の講演では、咳が続い

いて、次のステップ「広める」に挑戦することで、多くの地域住民の方々に地域医療の現状を知っていただき、安心して暮らせる街づくりを一緒に考えていきたいと思っています。



江田先生

たとき、その症状をどのようにか、咳を伴うさ

さまざまな呼吸器疾患について、わかりやすく解説してくださいました。今テレビCMでワクチン予防接種がアナウンスされている肺炎球菌や肺がんについてもお話しいただきました。21世紀の医療のキーワードとして、一つの病院で完結するのではなく病院が機能分化して地域で患者さんを診る「地域完結型医療」についても述べられました。

水田先生の講演では、タバコと息切れの関係、呼吸リハビリ、日



水田先生

頃からできる呼吸機能強化法について紹介されました。「歳のせい」ではない息切れとして「COPD」を話題に取り上げ、患者さんの声も交えてお話しされました。また、患者さんのさまざまなステージにおけるリハビリに多施設が連携してかわっていることも伝えました。日々の「活動」が健康の秘訣、「禁煙」こ



わが街健康プロジェクト。

― 3年目に突入、初のゴールドサポーター誕生

2015年11月6日、「わが街健康プロジェクト」(わがプロ)の第9回講演会を倉敷市民会館で開催し、倉敷市を中心に市民の方々195人が参加されました。

わがプロでは参加回数等に応じてブロンズ、ゴールド、プラチナとステップが上がるランクアップ制度を設けています。このたび、講演会に通算6回とサ

ポーターズミーティングに2回参加され、要件を満たした43人が初めてゴールドサポーターに認定されました。講演会前に実施した先行認定式では、ゴールドサポーターに贈呈するオリジナルのきびだんごやマスキングテープ、缶バッチ、サポーター名の入った名刺、名札ケースを初披露、どのグッズにもロゴや倉敷市の街並みがプリントされており、会場からは「すごい」などと歓声が上がりました。代表して2人のゴールドサポーターに登壇いただき、「学んだことを広め、自身も健康維持に気を

つけたい」「きびだんごを友達と一緒に食べながら、わがプロの話をしたい」とコメントをいただきました。



マスキングテープ

きびだんご



「みんなのくらちゅう5」が 完成しました！

地域医療連携の取り組みを紹介する冊子「みんなのくらちゅう5」が完成し、外来や病棟などで無料配布しています。ぜひご覧になっていただければと思います。

これまで発行した「みんくら」とは雰囲気を一変し、初の試みとして写真を使用して、より地域連携を身近に感じていただける冊子を目指しました。内容をシンプルにしたことでさらに読みやすく、分かりやすいものになっています。

かかりつけ医をテーマに構成しています。普段の全身状態をよく知っている総合医としてのかかりつけ医を持つことで、病気の早期発見や予防、日常のアドバイスをもらえる点を紹介しています。また、急性期病院と回復期・リハビリ病院との役割の違いや連携などについても記載しています。

2011年に「連携」をテーマとして第1弾を発行し、地域住民の方々が理解しにくい病院の機能分化や、その仕組みの中での当院の役割について説明をしてきました。今回で第5弾となり、ますます進化しています。ご意見・ご感想などございましたら、地域医療連携室の窓口（1-8 総合相談・地域医療センター 外来中央玄関すぐ横）までよろしくお願いたします。



アンケートでは、スタッフの声かけが嬉しい、丁寧な対応にほっとする、という感想をいただいています。「カードにスタンプを押してランクアップできるこのプロジェクトのとりこで、毎回楽しみに参加しています」という声もありました。活動を支えてくださるサポーターの皆さんとともに、よいよ3年目に突入しました。毎回ご好評いただいている血糖値や骨密度の測定、各種相談コーナーを設けた「健やかブース」も講演会の前に開催していますので、興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

そ最強の治療法、筋トレで息切れは軽減できると会場に呼びかけました。

● わが街健康プロジェクト。

次回第10回講演会は
2016年2月9日(火) 14:00～
倉敷市民会館 大会議室2F

参加無料

講演① 「倉敷版の地域包括ケアシステム構築に向けて」

倉敷市 保健福祉局参与 健康福祉部長 吉田 昌司 先生

講演② 「医療機関と上手に付き合う」

倉敷中央病院 地域医療連携室 宮脇 理美 先生

当院や共催の医療機関、公民館などに配布しているチラシの裏面に用紙となっており、不明な点などございましたら、わがプロジェクト事務局（倉敷中央病院地域医療連携室・TEL 086-142215218）へご連絡ください。

第11回講演会は5月20日（金）の開催を予定しています。詳細は次回4月に発行するNEWSでお伝えします。



マイカルテがスタートしました！

患者さんがUSBメモリにご自身のカルテ情報を保存し、活用していただくことが可能になりました。
 普段の治療では、患者さんご自身が体調管理の主役です。ご自身の情報をUSBメモリに保存し、自宅で閲覧したり、かかりつけ医に情報提供できたりするシステムを開発しました。
 患者さんにご用意いただくものはUSBメモリ（他のデータが入っていないもの）と診察券です。保存機器は医療情報の庭（開室9：00～16：00）に設置しています。
 カードリーダーに診察券を通し、USBメモリを差込口へ差し込み、画面の案内に従って簡単な操作をするだけで保存できますので、ご興味のある方は、ぜひご利用ください。



マイカルテで保存できる情報や使用方法の例

- 基本情報
- アレルギー情報
- 外来受診歴
- 入院歴
- 食事履歴
- 検体検査情報
- 注射歴
- 処方歴

※2011年5月以降の情報
 ※倉敷中央病院、倉敷リバーサイド病院、総合保健管理センターの情報を保存します。

活用方法はさまざま…あなたのお役に立ちます

受診や検査などの
履歴確認



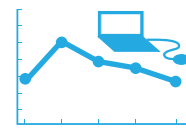
かかりつけの先生に
症状をお伝えする



旅先での「もしも」に
備える



ご自身の健康管理



ご注意

閲覧するためにはJavaランタイムが必要です。インストール手順については、USBメモリ内のマニュアルをご参照ください。



歌の力を患者さん・ご家族に… 八神純子さん来院、3年連続で

2015年12月3日、「みずいろの雨」「パープルタウン」などのヒット曲で知られる八神純子さんが来院、当院緩和ケア病棟クレモナホールと大原記念ホールで歌声を披露されました。八神さんは「歌で患者さんに力を」と、2013年から3年連続で来院されています。

緩和ケア病棟コンサートは、きよしこの夜をアカペラで歌いながら入場。今年はカラオケにピアノ演奏をあわせて歌われ、会場に集まった患者さん・ご家族・関係者が歌声に耳を傾けました。八神さんは終始親しみやすい雰囲気、ご自身と同じ音楽の道に進むことを決めた息子さんへの想いや、笑顔が与える力についてなどのお話とともに「みずいろの雨」「Mr.ブルー」など7曲を熱唱されました。コンサート後には、患者さんお一人ずつに声をかけて握手、写真撮影に応じたり、会場に来られなかった方のお部屋を訪問したりと、温かく心通うひとときをプレゼントしてくださいました。

会場を大原記念ホールに移してのウィンターコンサートでは9曲を熱唱。最後の曲「スマイル」では、アカペラで歌いながら会場をゆっくり巡り、来場者に



声をかけ、握手するサプライズもありました。屋外は寒風が吹いていましたが、会場には温かい空気が満ちました。

産褥出血患者救命に向けて、 部門間連携を強化

2015年12月12日、産褥大量出血事例を想定した合同受け入れ・処置対応訓練を実施しました。救命救急センターに患者が到着した時点から始まり、手術センターへの搬送、その後の止血処置を多職種でシミュレーションしました。

出産時に大量出血した妊産婦の救命は厳しく、妊産婦死亡原因の1位は産科危機的出血(20%強)です(※厚生労働省科学研究費補助金「周産期医療と他領域との効果的な協働体制に関する研究」より)。訓練には、産婦人科医師、助産師、麻酔科医師、救命救急センター(医師、看護師)、手術センター(看護師、臨床工学技士)が参加。近隣の産婦人科医院から当院へ産褥搬送依頼が入ったと想定して行いました。

医院からの連絡とともに産科医・助産師・救急スタッフが受け入れ準備に入りました。受け入れ後は止血処置・全身状態の管理・輸血の



流れなどを確認しました。産科医が診察の上、経膈的な止血操作が必要と判断、手術室での処置を決定し、輸血の手配や手術センターへ連絡しました。手術室では麻酔科医、手術室看護師、臨床工学技士が必要な器具などをセットし、患者を受け入れると、速やかにモニターを装着しました。その後止血が奏功、手術室での経過観察後に集中治療室へ入室検討となったとして訓練を終えました。

訓練を通じ、受け入れ時に優先する処置などの確認や、救命に向けた部門間連携の強化などを図ることができました。

倉敷中央病院の役割は？

当院は地域の診療所や病院から紹介のあった緊急・重症な患者さん、救急搬送された患者さんを中心に、入院や手術など高度で専門的な医療を24時間体制で提供する急性期病院です。症状が安定されましたら、お近くの医院をご紹介させていただきます。紹介元の先生よりご依頼があれば、いつでもフォローいたします。

倉敷中央病院



地域医療機関・
救急を支える病院

かかりつけ医



専門的な検査や治療が必要なときは
倉敷中央病院へ



病状が安定したら
かかりつけ医へ

かかりつけ医を持ちましょう

かかりつけ医は当院の医師と違う視点で病気を管理することができ、十分な時間を取っての相談も可能です。かかりつけ医を持つことは患者さんにとって大きな利点があります。入院や手術など高度で専門的な医療が必要と判断された場合、紹介状を作成されますので当院を受診してください。当院での検査や治療が終了しましたら、当院主治医からかかりつけ医に治療結果を報告しますので、かかりつけ医で継続した治療を受けていただきます。



公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構

倉敷中央病院

〒710-8602 岡山県倉敷市美和1丁目1番1号
TEL.(086)422-0210代 FAX.(086)421-3424
<http://www.kchnet.or.jp>